

1. 協議会等の位置付けについて

浅草地区まちづくり連絡調整会議

【目 的】

浅草未来図案に関する取り組みについて進捗状況の報告・共有を図る。

【運 営】

年に1回程度の開催を予定する。

【委 員】

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会に参加していた委員等

【事務局】

台東区

報告・共有

浅草未来図案に関する取り組み

①人中心の
空間の創出
プログラム

②新たな回遊
拠点の創出
プログラム

各プログラム
での取り組み

③歴史を紡ぐ
軸の創出
プログラム

④賑わいの
拠点の発展
プログラム

プログラム
以外の取り組み

ビジョン・4プログラムの推進に向けた協議会等の設立について（案）

2. 協議会等について

	プログラム名	協議会等の目的 (各プログラムのありたい姿)	メンバー
1	人中心の空間の創出プログラム (浅草全体)	まちの再編にあわせ、歩行者空間の再編・創出を行い、「歩きやすい空間」をまちのあちこちに広げます。 - 訪れる人で溢れているまちなかでは、混雑が解消され、快適な訪問・滞在ができる環境を確保します。 - 空間の利活用にまつわるイベントや社会実験が重ねられ、歩いて巡ることの楽しさを感じることができる環境を確保します。 - さまざまなシーンで活用できる道路空間づくりを推進します。	台東区 他
2	新たな回遊拠点の創出プログラム (浅草駅・隅田川周辺)	まちの再編にあわせ、滞留空間の創出・交通結節機能の充実・拡充を行い、これとともに浅草駅や地下施設等を更新した「浅草の新たな回遊拠点」として発展させます。 - 鉄道・バスなどの公共交通の利用がしやすく、乗り換えの利便性が高い交通環境を確保します。 - 隅田川周辺では、水辺とまちが一体的につながった空間を確保します。 - 観光や平常時の憩いだけでなく、災害時の避難にも対応できる空間を確保します。	- 学識経験者 - 台東区 - 東武鉄道(株) - 東京地下鉄(株) - 東京都交通局（総務部、建設工務部、自動車部） - 東京都公園協会（水辺事業部） - 国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所 - 東京都都市整備局（都市づくり政策部、都市基盤部） - 東京都建設局（河川部） - 東京都墨田区（都市計画部） 【オブザーバー】 - 国土交通省都市局（まちづくり推進課、街路交通施設課） - UR都市機構
3	歴史を紡ぐ軸の創出プログラム (東参道・二天門通り周辺、浅草寺周辺)	住む人や訪れる人が快適に回遊できる動線を整備し、「浅草の歴史を紡いできた二大空間（浅草寺・隅田川）を結わえる東西軸」として発展させます。 - 浅草寺と隅田川の東西の往来を促進するような動線を確保します。 - 二天門前や隅田公園近辺では、東西の往来を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間を確保します。 - 沿道の公共空間の再編とあわせ、建物ファサードや屋外広告物の統一感ある景観づくりを推進します。	- 台東区 - 東京都産業労働局（商工部） 他
4	賑わいの拠点の発展プログラム (六区ブロードウェイ周辺)	地域による活動が活発に行われている、「賑わいのある西の回遊拠点」として発展させます。 - 興行や大衆芸能の中心地として、浅草のにぎわいを支えてきた数々の取り組みを展開します。 - 主要な通りでは、快適に通行でき、人々の往来を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間を確保します。 - 地区の西側を代表する観光拠点が生まれ、東側を訪れた人の集客を促進します。	- 台東区 (一社) 浅草六区エリアマネジメント協会 他

戦略的まちづくり プログラムの設定箇所

「戦略的まちづくりプログラム」は、空間として大きく再編される場所、現状の空間を維持しつつ魅力を増やしていく場所の中でも、まち全体に好影響が広がり、波及効果が最大化されていくことを狙いとして、場所と取り組みを戦略的に抽出し、整理しています。

1 人中心の空間の創出プログラム (浅草全体)

主に該当するアプローチ:

- 01 暮らしと観光を共存させる
- 02 人とまちを安全に
- 04 居心地の良い空間をつくる
- 07 表舞台をつくる
- 09 おもてなしの質を上げる

2 新たな回遊拠点の創出プログラム (浅草駅・隅田川周辺)

主に該当するアプローチ:

- 02 人とまちを安全に
- 03 まちの移動をスムーズに
- 04 居心地の良い空間をつくる
- 05 駅とまちをつなぐ
- 06 水辺とまちをむすぶ

3 歴史を紡ぐ軸の創出プログラム (東参道・二天門通り周辺、浅草寺周辺)

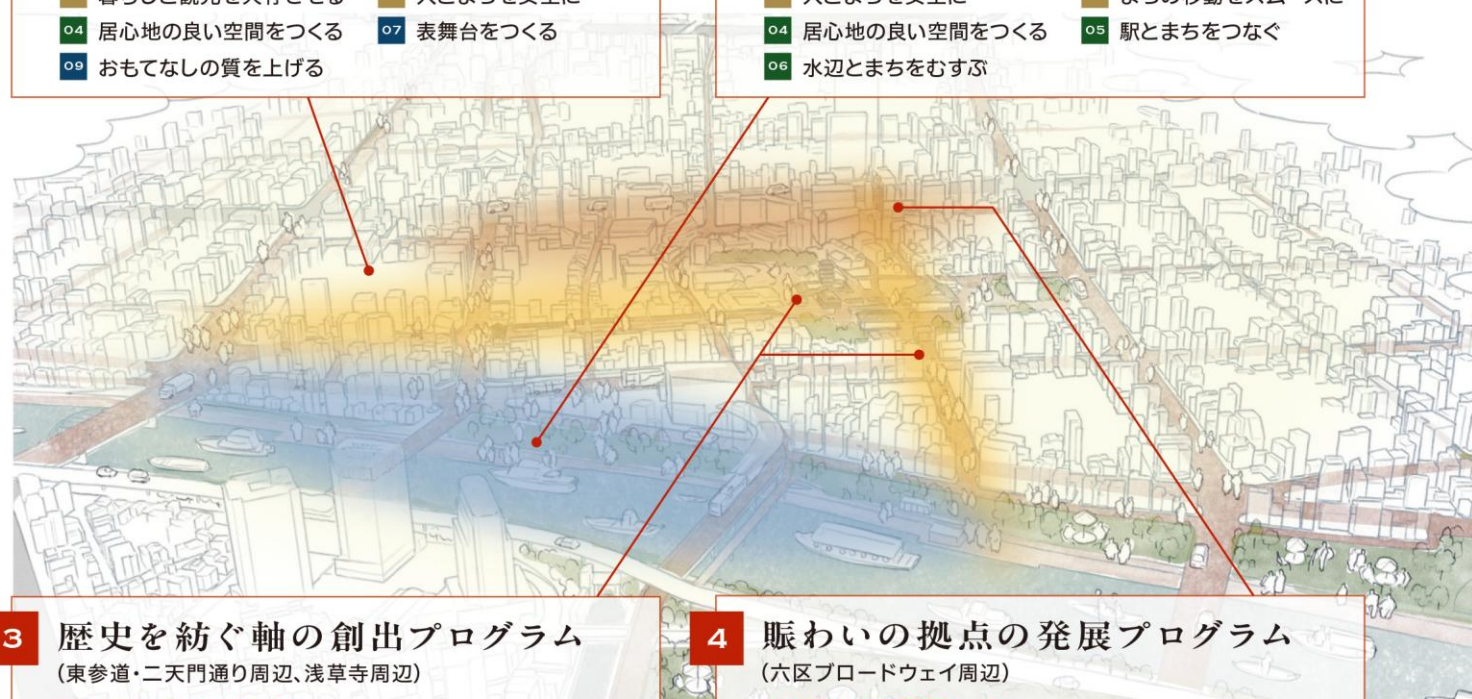
主に該当するアプローチ:

- 01 暮らしと観光を共存させる
- 02 人とまちを安全に
- 04 居心地の良い空間をつくる
- 06 水辺とまちをむすぶ
- 07 表舞台をつくる

4 賑わいの拠点の発展プログラム (六区ブロードウェイ周辺)

主に該当するアプローチ:

- 01 暮らしと観光を共存させる
- 05 駅とまちをつなぐ
- 07 表舞台をつくる
- 08 本物を伝える
- 09 おもてなしの質を上げる



人中心の空間の創出プログラム（浅草全体）

ありたい姿

空間の再編・創出を行い、「歩いて楽しい空間」をまちのあちこちに広げます。

- 訪れる人で溢れているまちなかでは、混雑が解消され、快適な訪問・滞在ができる環境を確保します。
- 空間の利活用にまつわるイベントや社会実験が重ねられ、歩いて巡ることの楽しさを感じることができる空間環境を確保します。
- さまざまなシーンで活用できる道路空間づくりを推進します。

取り組み

- 通りの賑わいを維持・向上させる、まちづくりの担い手の育成
- 未来のまちの姿につながる空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 生活に根付いた祭りやイベントに合わせて変化が可能となるまちの環境整備
- 住む人・商いをする人・訪れる人が調和しながら過ごせる生活空間の確保
- 広がりのある浅草を楽しめる、おすすめの観光ルートの発信
- まちなかのトイレ環境の充実と利用マナーの啓発
- 地区内の既存交通の整理
- 伝統ある文化と活気に溢れた、浅草らしさが感じられる屋外広告物等の景観ルールづくり
- 住む人・商いをする人・訪れる人にとって魅力的な空間・施設の再編
- 平常時や災害時にも多目的に活用できる、駅前や主要な通り沿道におけるオープンスペースの整備
- 避難場所等へ安全かつスムーズに移動ができる通りの整備
- 賑わいと快適性を共存させる、主要な通りや駅前での歩行者空間の拡充
- 地区内外の個性ある資源に訪れたい、人々の往来や誘引性を高める設え
- 持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備
- 周辺地域とのつながりを強化する、自転車や新しいモビリティ等を活用した交通ネットワークの形成

進行イメージ

浅草寺創建
1400年

東武浅草駅開業・隅田公園開園
震災復興100周年

計画見直し
予定

台東区
100周年

2028
頃

2030
頃

2038
頃

2047
頃

・エリアマネジメント団体等の組成
・歩行者空間の拡充に向けた社会実験や目指すべき方向性の検討
・モデル地区におけるまちなみの維持に必要な建替えルールの検討
・多様なニーズを踏まえた受入環境に向けた検証
・主要な通りや駅前における景観、駐車場、自転車等のルール導入に向けた検討

・エリアマネジメント人材の育成
・社会実験やあり方検討を踏まえた、道路空間や地下空間等の歩行者空間拡充方針の作成
・雷門通りや並木通りなどにおける広場空間の検討
・モデル地区におけるまちなみの維持に必要な建替えルールの導入
・受入環境の段階的な運用
・主要な通りや駅前における景観、駐車場、自転車等のルールの作成

・エリアマネジメントによる持続可能な活動の展開
・まちなみの維持保全・適切な建物更新
・地区内での建替えルールづくりの推進
・道路空間や地下空間等の歩行者空間拡充ネットワークやオープンスペースの実現
・時代のニーズに即した、持続可能な受入環境の運用
・景観、駐車場、自転車ルール等の運用

2 新たな回遊拠点の創出プログラム（浅草駅・隅田川周辺）

ありたい姿

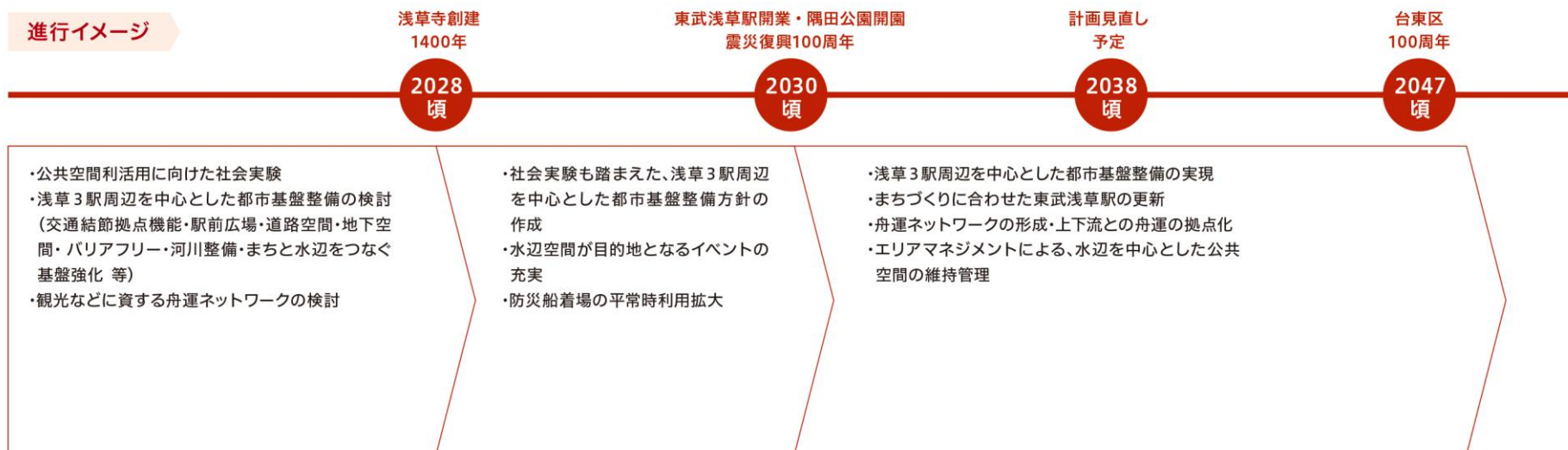
滞留空間の創出・交通結節機能の充実・拡充を行い、これとともに浅草駅や地下施設等を更新した「浅草の新たな回遊拠点」として発展させます。

- 鉄道・バス・水上バスなどの公共交通の利用がしやすく、利便性が高い交通環境を確保します。
- 隅田川周辺では、水辺とまちが一体的につながった空間を確保します。
- 観光や平常時の憩いだけでなく、災害時の避難にも対応できる空間を確保します。

取り組み

- 未来のまちの姿につながる空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- まちづくりプログラムの推進協議会での検討
- 水辺空間の利活用・維持管理に向けた民間主体の河川空間マネジメントの推進
- 水辺に居心地よく滞在できるイベント等との連携・PR促進
- ナイトタイムでの観光を促す滞留空間やコンテンツづくりの整備
- 大規模災害時の人や物資の輸送手段の確保
- 浅草3駅(東武・メトロ・都営)を中心とした、新たな都市基盤・回遊拠点整備の推進
- 鉄道・バス・水上バス・タクシー・新たなモビリティ等の交通結節機能の充実
- 隅田川や川沿い街区のまちづくりと連携したスーパー堤防等の河川整備の推進
- 都市基盤整備に合わせた、観光バスや自転車の駐車場等の都市施設の確保
- 平常時や有事の際の利用のしやすさに配慮した、地下空間の再整備
- 舟運での広域的なつながりの強化
- まちづくりに合わせた東武浅草駅の更新
- 水辺にゆとりと潤いをもたらす、緑化の充実やベンチ、サイン等による水辺空間の質的向上

進行イメージ



3 歴史を紡ぐ軸の創出プログラム（東参道・二天門通り周辺、浅草寺周辺）

ありたい姿

住む人や訪れる人が快適に回遊できる動線を整備し、「浅草の歴史を紡いできた二大空間（浅草寺・隅田川）を結わえる軸」として発展させます。

- 浅草寺と隅田川の往来を促進するような動線を確保します。
- 二天門前や隅田公園近辺では、東西の往来を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間を確保します。
- 浅草寺周辺や浅草寺と隅田川をつなぐ参道において、建物ファサードや屋外広告物等の統一感ある景観づくりを推進します。

取り組み

- 1400年を超える歴史文化を伝える、新たな滞留拠点の整備
- 幅広い世代に向けた、浅草の歴史・まち・文化への理解を深めるための情報発信とイベントの実施
- 未来のまちの姿につながる空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 水辺に居心地よく滞在できるイベント等との連携・PR促進
- 伝統ある文化と活気に溢れた、浅草らしさが感じられる屋外広告物等の景観ルールづくり
- 通りや水辺空間の賑わいや維持管理に取り組むエリアマネジメントの活性化
- 地区内外の個性ある資源に訪れたいくなる、人々の往来や誘引性を高める設え
- 住む人・商いをする人・訪れる人にとって魅力的な空間・施設の再編
- 都市基盤整備に合わせた、観光バスや自転車の駐車場等の都市施設の確保
- 平常時や災害時にも多目的に活用できる、駅前や主要な通り沿道におけるオープンスペースの整備
- 避難場所等へ安全かつスムーズに移動ができる通りの整備

進行イメージ



4 賑わいの拠点の発展プログラム（六区ブロードウェイ周辺）

ありたい姿

地域による活動が活発に行われている、「賑わいのある西の回遊拠点」として発展させます。

- 興行や大衆芸能の中心地として、浅草のにぎわいを支えてきた数々の取り組みを展開します。
- 主要な通りでは、快適に通行でき、人々の往来を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間を確保します。
- 浅草の西側を代表する観光拠点が生まれ、東側を訪れた人の集客を促進します。

取り組み

- 幅広い世代に向けた、浅草の歴史・まち・文化への理解を深めるための情報発信とイベントの実施
- 広がりのある浅草を楽しめる、おすすめの観光ルートの発信
- 通りの賑わいを維持・向上させる、まちづくりの担い手の育成
- 未来のまちの姿につながる空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 商店街等における人と人がつながる機会の創出
- 興行街の歴史を活かした地区のシンボルとなる滞留拠点の整備事業の推進
- 通りや水辺空間の賑わいや維持管理に取り組むエリアマネジメントの活性化
- ストーリー性を感じることができる商店街ファサードの整備
- 浅草駅(TX)や田原町駅と六区ブロードウェイとのつながりを意識した回遊の促進
- 「芸の聖地」浅草の大衆芸能の文化を体験し、楽しめる場の充実
- ナイトタイムでの観光を促す滞留空間やコンテンツづくりの整備

進行イメージ

